

# ならのがんに関する患者意識調査について

## 1. 調査目的

がん患者の受療の状況や受けた医療に対する満足度、がん医療に関する認知度等を調査することにより、がん患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後のがん対策の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査方法

調査の方法は、以下の通りである。

### ■調査の方法

調査対象	県内のがん診療連携拠点病院・支援病院、その他がん診療を行っている医療機関に受診されているがん患者（入院・外来）ご本人
実配布数	1,442人
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>協力医療機関から、がん患者に調査票と返信用封筒を手渡しし、がん患者本人が調査票に記入後、郵送で提出。</li> <li>原則として患者本人の記入方式としたが、記入できない場合については、家族の方などが補助して記入することも可とした。</li> <li>調査票は奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課あての返信用封筒により回収した。</li> </ul>
調査期間	令和3年10月1日（金）～10月31日（日） （回答締め切り：令和3年11月12日（金）消印有効）

## 3. 調査内容

アンケート調査の内容は、以下の通りである。

<p>1. 医療機関で受けた診断や治療について</p> <p>問1 がんの診断時期</p> <p>問2 がんの部位</p> <p>問3 治療等を受けている病院名</p> <p>問3-1 かかりつけ医の有無</p> <p>問4 現在の治療状況</p> <p>問5 今まで受けた治療</p> <p>問6 病院を選んだ理由</p> <p>問7 病院を選択する際の情報源</p> <p>問8 現在の病院に対する満足度</p> <p>問9 現在の病院に対する不満な点と望む対応（自由記述）</p> <p>問10 がん治療の納得感</p> <p>問11 医師から受けた説明の理解度</p> <p>問12 疑問や意見の医師への意思疎通</p> <p>問13 不妊への影響について説明の有無</p> <p>問14 不妊への影響について具体的な説明</p> <p>問15 院内スタッフの連携について</p> <p>問16 医師等からの情報提供</p> <p>問17 セカンドオピニオンについて担当医から説明の有無</p> <p>問18 セカンドオピニオンの経験の有無</p>	<p>問19 現在の心身の状態</p> <p>問20 緩和ケアの認知度</p> <p>問21 緩和ケアを開始すべき時期の認識</p> <p>問22 緩和ケア外来の認知度</p> <p>問23-1 からだの苦痛について緩和ケアの経験の有無</p> <p>問23-2 からだの苦痛に対する緩和ケアの早い提供・症状の改善</p> <p>問23-3 気持ちのつらさについて緩和ケアの経験の有無</p> <p>問23-4 気持ちのつらさに対する緩和ケアの早い提供・症状の改善</p> <p>問24 受けた治療の納得感</p> <p>2. 地域連携について</p> <p>問25 在宅医療・移行時の情報伝達について</p> <p>問26 がん地域連携クリティカルパス等の認知度</p> <p>3. 今後の療養について</p> <p>問27 在宅緩和ケアの認知度</p> <p>問28 在宅緩和ケアへの考え</p> <p>問29 自宅で療養するために必要なこと</p> <p>問30 希望する療養場所</p>
--	---

<p>4. 相談支援・情報提供について</p> <p>問 31 がん医療に関する相談支援及び情報提供</p> <p>問 32 がんに関する情報の充実度</p> <p>問 33 がんネットならの利用度</p> <p>問 34 がん相談支援センターの利用の有無</p> <p>問 35 患者サロンの認知度</p> <p>問 36 患者サロンを知ったきっかけ</p> <p>問 37 支援によるがんに関する心配・悩みの軽減感</p> <p>5. 治療と就労について</p> <p>問 38 がん治療と継続就労についての認識</p> <p>問 39 がん診断時の就労状況</p> <p>問 40 仕事の継続に関する事業主の理解・支援</p> <p>問 41 仕事を継続するために受けた事業主の支援内容</p> <p>問 42 治療・療養による一定期間の休暇の有無とその後の仕事の状況</p> <p>問 43 がん治療・療養のための退職・廃業の有無と現在の仕事の状況</p> <p>問 44 治療をはじめ前の就労継続についての病院からの話</p> <p>問 45 仕事を継続するために必要な対応・制度</p>	<p>問 46 就労等の情報提供・相談支援に望むこと</p> <p>問 47 がん相談支援センターにおける就労相談の認知度</p> <p>問 48 奈良県立医科大学附属病院における就職相談の認知度</p> <p>6. がん登録について</p> <p>問 49 がん登録の認知度</p> <p>問 50 がん登録による期待するメリット</p> <p>7. 全体的なことについて</p> <p>問 51 がん対策で奈良県に望むこと</p> <p>問 52 療養生活を送る中でよかったことや不満・疑問に感じたこと（自由記述）</p> <p>問 53 医療機関や行政に対するがん医療に関する意見（自由記述）</p> <p>8. 患者本人について</p> <p>問 54 記入者</p> <p>問 55 年齢</p> <p>問 56 性別</p> <p>問 57 居住する医療圏</p>
---	--

## 4. 配布・回収結果

調査票の配布・回収結果を示したものが次表である。

### ■配布・回収結果一覧

	令和3年度	平成29年度
① 配布数※ <sub>1</sub>	2,095人	2,085人
② 実配布数※ <sub>2</sub>	1,442人	1,714人
③ 有効回収数	788人	908人
④ 回収率 (③/②)	54.6%	53.0%

※1 圏内のがん診療連携拠点病院・支援病院等に配布した数

※2 実際にがん患者本人に手渡された数

## 5. 患者の居住する医療圏

患者の居住する医療圏については、「奈良医療圏」が22.8%と最も高く、次いで「中和医療圏」が20.9%、「西和医療圏」が18.8%となっている。

### ■患者の居住する医療圏

	令和3年度		平成29年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
奈良医療圏	180	22.8	221	24.3
東和医療圏	142	18.0	160	17.6
西和医療圏	148	18.8	179	19.7
中和医療圏	165	20.9	208	22.9
南和医療圏	60	7.6	51	5.6
その他の都道府県	61	7.7	59	6.5
無回答	32	4.1	30	3.3
合計	788	100.0	908	100.0